

平成31年度事業計画について

能美市シルバー人材センターは、地域に貢献する組織として、地域の家庭・企業、公共団体などから仕事をいただきながら、中長期計画に基づき活動を進めています。

超高齢化の時代を担うシルバー人材センターとしては、人材不足に伴う定年延長などにより入会年齢が高くなる傾向があるなか、いかに会員を増やすかが課題となっています。

そうしたなか、会員相互交流とシルバーの活動や情報提供を目的に、「シルバーだより能美」を年2回会員向けに発行することができました。今後は広くシルバーの活動を知っていただくために市内全戸配布も目指して行きます。

全国シルバー人材センター事業協会では、全国のシルバー会員を2024年までに100万人となるよう会員増強を目指しています。当然ながら、能美市シルバー人材センターにも数値目標が与えられましたので、目標値に向けた取り組みをしなければなりません。中長期計画では、2021年に会員数420名としていますが、全国の目標値は511名となっており、かなり厳しい目標値であります。会員の登録を促すには、さまざまな取り組みをしなければなりません。

これまでは、入会の説明を随時、センターで行ってきました。いつでも気軽に相談に乗り、入会していただければと広く門戸を開いていました。しかし、入会を希望する方は、少ない現状にあります。そこで、今年は、ハローワークとの連携で職業相談に訪れた適齢の方を対象に、入会説明をその場で行い会員確保につなげていくこととしております。

高齢者世帯が増加するなか、家事支援を必要とする世帯も必然的に増加傾向にあり、シルバー人材センターが担うことで地域を支える一員となることを目指して行きます。また、空き家、空き地の管理にかかるシルバー人材センターへの期待もあり、市の空き家対策を注視しながら、シルバーが請負える仕事に対応していきます。

会員の適正就業は、シルバー人材センターの使命であり、「臨・短・軽」の基本を遵守し、会員が働き易く、安全に仕事ができる環境であるかを確認していきます。また、作業中の軽微な事故が多発している現状を踏まえ、会員が重篤な事故にならないよう、また仕事先や他に損害を与えないように、現場の確認、安全研修会などを通じて、徹底していくこととしております。

1. 就業機会拡大事業

センターは会員と協力しながら継続した顧客を大切に、新規の事業所、公共、一般家庭からの受注の掘り起こしに努めます。又、市の福祉施策に伴う需要が見込まれる日常生活支援事業、空き家対策等への適切な対応をするための受入れ態勢を整い、さらに国の採択事業の拡大による雇用の継続拡大を図ります。

- (1) 公共施設などへのポスター掲示や仕事内容を照会したチラシを市内全戸に配布し、シルバーの周知を図るとともに、新規の仕事と会員を増やすことでの就業機会の拡大に努めます。
- (2) 定年延長、雇用延長により新規入会者の確保が困難な状況のなか、高齢者世帯の日常生活の支援に向けた仕事に応えるための女性会員の入会を促進していきます
また、新たな取り組みとしてハローワークとの連携で、ハローワーク内に出張相談所を開設し、月2回職員常駐で入会相談に応じる体制を整えます。
- (3) センターが介護支援事業に適正に対応できるよう、会員の理解を得て講習会等に参加していただき、基礎知識と技能の習得に努めます。
- (4) 地域間を超えた相互協力により、市民ニーズに柔軟に応え、会員の就労機会の均等と拡大に努め、就労意欲の継続を図っていきます。
- (5) 地域就業機会創出・拡大事業が事業年度3年目となり、JAとの連携で地域ブランド「加賀丸いも」の作付け耕作地の確保と栽培方法の指導による収量の拡大と会員の就労機会を創出します。また丸いも農家の人手不足を補うために就労される会員の確保に努め、事業の目的達成に取り組んでいきます。

2. 独自事業の推進

- (1) 剪定枝葉のチップ化事業を継続しながら、チップの利用方法の宣伝に努めていきます。さらに市が取り組んでいる循環型社会の推進に協力していきます。
- (2) 会員有志でゆず栽培と管理を行ってきましたが、当初からの参加会員が減少したことから、センター会員の理解と協力を得ながら、ゆず栽培を継続

していきます。市の地域おこし協力隊とも連携しながら、国造ゆず生産組合の協力を得て、ゆずの収穫量の確保に努め、温浴施設などでの販売を目指します。

- (3) 将来の目標であります常設店舗の設置に向け、販売用農産物の確保を目指し多様な野菜の作付けに挑戦していきます。当面は、センターや市民が集まる場所で継続的に販売し、販売実績を作っていきます。

3. 普及啓発活動の実施

シルバー人材センターの業務と活動内容を広く市民や企業等へ周知するために普及啓発活動を行っていきます。

- (1) 市と連携し、運転業務や公共施設の管理業務の受注拡大に努めます。
- (2) センターの活動状況や会員募集などを市の広報紙に掲載していただき、啓発活動に努めていきます。
- (3) 市の「ちょこっとお助け隊事業」に従事できるシルバー会員の確保に努め、真に必要とする方への地域福祉の支援活動に協力していきます。
- (4) 感謝祭を機会に、シルバーの活動を広く市民に周知できるよう、内容等検討しながら継続的に開催していきます。

4. 安全就業の推進

会員の事故防止を図るため、現場への巡回パトロール、安全作業の周知徹底を図ります。又、会員の意識を高めるために安全就業大会、安全衛生教育、運転適性講習会等へ参加を促すことと、班長・リーダーに対する安全適正就業の徹底と全会員対象の適正就労に伴う安全研修会を開催し、安全就業に努めます。特に、作業に取り掛かる前の安全確認と健康状態のチェックを行うことに努めていきます。

また、新規会員には、派遣や請負作業に従事する前には、必ず就業に向けた安全就労の説明等を実施していきます。

5. 技能講習会の開催

高齢者の就業機会の拡大と就業の促進のため、県連合会が行う技能講習会としてのシニアワークプログラム事業及び高齢者活躍人材育成事業を活用して会員の技能向上に努めます。

6. 適正就業の推進

県連合会と連携を図り、請負・委託業務と派遣事業を明確に区分しながら、シルバー事業本来の機能的活用と円滑な業務を推進して、会員の適正就業に努めます。有料職業紹介事業についても同様に進めます。

7. 組織体制の充実

- (1) 公益社団法人の認定基準に従い、センターの適切な運営に努めます。
また、適切なセンター運営と情報共有を期すために理事会を2か月に1回開催していきます。
- (2) 職群班を中心に業務の効率化と組織全体の円滑な運営を図ります。
また、各地域間の相互協力を進め、センター全体の機能性を高めていきます。
- (3) 会員と事務局との連携を確実にを行い、顧客ニーズの把握に努めることでセンターの機能と信頼度を高めていきます。
- (4) 「シルバーだより能美」の内容の充実に努めることと、会員と企業や関係機関だけの配布から、さらに市内全戸配布を検討していきます。

8. イベント事業「感謝祭」の開催

感謝祭は、シルバー人材センターの日頃の感謝の気持ちと自主事業で栽培した「加賀丸いも」や「ゆず」の販売促進を目的に11月下旬に開催し、多くの市民の皆さまにご来場いただいています。

日頃の感謝を込めての開催であり、丸いも入り餅、豚汁などのサービス、また会員持ち寄りの野菜販売は、会員の就労意欲の向上にもつながることであり、本年も開催します。